

三月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 072-622-3725 FAX 072-622-3725

忘れたいことも、忘れられないことも、優しく包みこむ。春の陽光に照らされて、海はキラキラと輝いています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年三月のご案内を申し上げます。

第二百六十二回

人生講座

日時 三月十二日(日) 昼二時～四時
講師 本願寺派布教使



高津 眞悟 師

■高津(たかつ)先生、五十八歳。島根県大田市水上町、浄福寺住職。農業大好き住職として寺の周り8ヘクタールの水田や畑作もの(キャベツ)に汗を流しておられます。過疎化と高齢化が深刻な地域で農繁期ともなれば心の悩みに加え、たのみの農業相談者としてご活躍です。

■撰津十二日講御消息披露法要、お蔭様で無事終了しました。皆さま、ご協力・ご参拝、有難うございました。

初参式

昨年1年間(平成28年1月1日～12月31日)にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

と き: 4月8日(土) 午後1時より

ところ: 西福寺本堂ほか

受式冥加金: 5000円

申込み締切: 3月末日。
お問い合わせ: 西福寺 (TEL 072-622-3725)



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

彼岸会寄席

桂文福一座来山



西福寺仏教婦人会3月の

例会は、彼岸会(ひがね)寄席です。今年も文福一座の皆さまにお越しいただきませう。

吃音(きつおん)という障害を「お前の個性や」と先代文枝師匠に励まされた恩を忘れず、若手落語家や大相撲の力士たちに温かい眼差しもって関わり続けておられます。昨年、その様子が「Eテレ」で全国放送され、大きな反響を呼びました。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、お楽しみ下さい。

日時: 3月18日(土) 午後2時～3時半

場所: 西福寺本堂

費用: 千円(運営協力金として)

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

正信偈のつづき ⑮

◆三不三信誨慙 像末法滅同悲引
一生造悪値弘誓 至安養界証妙果

【意訳】信と不信をねんごろに末の世かけておしえます
一生悪を造るとも弘誓に値いて救われる

道綽禅師は、「三不三信」について、「一つは信心篤からず、若存若亡するゆえに、二つに信心一つならず、いわく、決定なきがゆえに。三つには信心相続せず、いわく、余念間故なるがゆえに」と詳説された。釈尊滅後五百年を隔てて生きる凡夫を等しく哀愍された。

阿弥陀仏の誓願を疑いなく信知すれところに、たとえ一生の間、縁に触れて数々の悪行を重ねる凡夫であっても、安養なる極楽浄土に至り、速やかにこの上ない優れた悟りを開くことができる。

◆善導独明仏正意 矜哀定散与逆悪

光明名号顕因縁 開入本願大智海

【意訳】善導大師ただひとり釈迦の正意をあかしてぞ

自力の凡夫あわれみてひかりと名名の因縁説く

浄土門の祖師といわれる方は数多くいらっしゃるが、善導大師たった一人、誤りなく阿弥陀仏の正意を明らかにされた。すなわち、定善散善を行ずる自力修行の聖者も五逆の大罪をはたらく悪人も、漏れることなく哀れみ救われる。

阿弥陀仏の四十八願中、第十二願は「わがひかりきわなからん」と誓われている。これは、念仏の衆生を救うためである。この願はすでに成就しており、あまねく無碍の光で十方微塵世界を照らしつくし、衆生の煩惱悪業を長きにわたって照らし出す。(以下、次号に続く)